

■ 令和7年度 第4回 秋葉区自治協議会

日時：令和7年7月25日（金）午後1時30分～
会場：秋葉区役所6階 601・602会議室

1 開会

2 新津中央コミュニティ協議会あいさつ

(渡邊会長)

本日は、新津地域交流センターを会場していることから、新津中央コミュニティ協議会の中村会長よりごあいさつをいただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(中村委員)

皆さんこんにちは。高いところからでございますが、一言、ごあいさつを申し上げます。本日は、第4回秋葉区自治協議会を開催するにあたりまして、新津地域交流センターをご利用いただきまして、大変ありがとうございます。私は、新津地域交流センター管理運営委員会の会長並びに新津中央コミュニティ協議会の会長も兼ねておりますが、本日は当会場をご利用いただきまして、本当にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。また、暑い中、大勢の委員の方、また区役所の皆様方にお集まりいただきました。大変ありがとうございます。そうそうたるメンバーで気後れいたしておりますが、何ぶんよろしくお願ひいたします。このあと、この会が成功裏に終わることを祈念いたしますし、また委員の皆様の今後ますますのご活躍をお祈りいたしまして、簡単ではございますが、あいさつといたします。本日はご利用いただきまして、大変ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

中村会長、ありがとうございました。

3 委員あいさつ（第2部会 青木委員）

(渡邊会長)

続きまして、委員あいさつを第2部会の青木委員からお願ひいたします。

(青木委員)

皆さん、こんにちは。第2部会の青木と申します。よろしくお願ひいたします。先ほど12時40分からこの場所におきまして新津松阪の踊りの練習をされました。大変ご

苦労さまでございました。改めて参加された皆様のやる気、熱気について感服いたしました。地域の皆様の活性化と、歴史と伝統のある新津まつりを盛り上げるために、ぜひ自治協議会の方から一人でも多く 16 日には参加していただければと思います。よろしくお願ひいたします。私は生まれつき踊りが苦手なもので、当日はプラカード持ちを立派に務めたいと思います。

先日、23日に、秋葉区では過去最高といわれる 38.1 度となりました。これから猛暑が続きますけれども、皆様、家族共々健康に留意されまして、この自治協議会も残り 8か月となりました。今日の天気以上に白熱した議論をもちまして、秋葉区民 7 万 5,000 名の方の期待と信頼に応えるような活動をしていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

いつもながら熱いごあいさつ、ありがとうございます。

4 報告

(1) 区政運営にかかる評価に対する意見の提出について

(渡邊会長)

次第に基づき進めさせていただきます。次第 4 「報告」の(1) 区政運営にかかる評価に対する意見の提出について、私より説明いたします。

資料 1 をご覧いただければと思います。令和 6 年度区政運営にかかる評価に対する意見についてということで、前回の皆様からのご意見、また、区長からのご意見、ご説明を受けまして、こちらを提案させていただきました。読み上げさせていただきます。

令和 7 年度 6 月 21 日付け新秋地総第 547 号にて依頼がありました表記のことについて、下記のとおり意見いたします。令和 6 年度区政運営につきましては、組織目標に掲げた重点目標の 5 件のうち 1 件を達成し、ほか 4 件につきましても一部未達成ではございますが、目標に向けてご尽力いただき、確実な成果を上げられたことは肯定的に評価させていただきます。また、人口減少、気候変動といった新たな課題に対しても柔軟な発想で施策を工夫して展開していただき、感謝申し上げます。令和 7 年度も引き続き、個々の区民の思い、地域の課題解決に向けて、秋葉区ならではの資源を生かした区政運営に努めていただきますよう、お願ひいたします。なお、個別施策に関する意見は以下に申し添えさせていただきます。

1、わくわく石油楽習につきましては、区内の小学生が自分たちの暮らす地域の文化、資源を学ぶ貴重な機会となっております。引き続きの実施をお願いいたします。

2、Akiba マウンテンプレーパークを小学校の代休日に利用して有効だったという前

例がございました。次年度も小学校の代休日に開催できるよう、調整いただけますと幸いです。

3、各目標と取組みに、国際連合の持続可能な17の開発目標を対応させて明記していくだくような表記方法をご検討いただけますと幸いです。

4、アキハスマプロジェクトでは、移住者へのアプローチだけでなく、関係人口増加の取組みを行っており、目標に関係人口の要望を明記することをご検討いただけますと幸いです。

私が以上です。ただいまの説明についてご質問等はございませんでしょうか。

なければ、これで、区政運営にかかる評価に対する意見の提出についてを終わります。

(2) 令和8年度「特色ある区づくり予算」編成について

(渡邊会長)

次に、(2) 令和8年度「特色ある区づくり予算」編成につきまして、高橋副区長よりご説明をお願いいたします。

(副区長)

お手元の資料2-1 「令和8年度『特色ある区づくり予算』について」をご覧いただきたいと思います。特色ある区づくり予算は、各区における地域課題に対応するための予算として、資料左側の青色でお示ししている区役所企画事業と、右側の薄いオレンジ色の自治協議会提案事業の二つで構成されています。大ざっぱにいいますと、区役所企画事業についてのご意見をいただきたいということと、自治協議会提案事業を各部会で検討していただきて、事業検討委員会に諮って決めていただきたいと。大ざっぱにいうとそういうことなのですけれども、その中身をもう少しご説明させていただきます。

令和7年度予算編成での限度額というのが、二つ合わせて2,900万円ということでした。令和8年度につきましてもおおむね同額の予算額が見込まれております。内訳につきましては、区役所企画事業が2,400万円、自治協議会提案事業が500万円を目安としておりますが、令和6年度、令和7年度とも区役所企画事業が2,287万円、区自治協議会提案事業が613万円という状況でございます。

次に、内容についてです。まず、左側の区役所企画事業です。区役所企画事業は区ビジョンまちづくり計画に掲げる目指す区の姿の実現のため、区独自の課題解決に向けた取組み、区の魅力や特性を生かした特性、区民との協働を進める取組みなどのソフト事業及びランニングコストのかからないハード事業となっています。なお、健康福祉、子育て、防災、安心安全に関する事業は全市的に展開すべきものと整理されており、対象外となっております。後ほどふれますが、区役所が区役所企画事業を検討するにあたり、

自治協議会委員の皆様からのご意見やご提案を参考にさせていただきます。

続きまして、右側の自治協議会提案事業です。自治協議会提案事業は、例年、自治協議会委員の皆様自らが事業を提案し、主体となって進める事業です。事業の内容としては、地域課題の解決に必要な新たな取組みや、既存の取組みと連携を図る事業となっており、期間は原則1年としております。区役所と連携しながら、企画実施、評価、改善の各段階において、自治協議会委員の皆様から主体的に取り組んでいただくものです。また、コミュニティ協議会などの地域活動団体と連携して事業を実施することも可能となっております。

続いて、今後のスケジュールについてです。資料2－2です。左側の区役所企画事業について、ご意見やご提案を募集いたします。めくっていただきますと、様式1がついております。さらにもう一枚めくっていただきますと、記入例というのがついております。区ビジョンまちづくり計画に記載している目指す区の姿を実現するため、令和7年度の既存事業に関するご意見、または新たな取組みに関するご意見について、記入例を参考にご記入をお願いします。なお、令和7年度の区役所企画事業につきましては、様式1及び記入例の裏面に記載しておりますので、ご覧ください。

また、その次に資料2－3があります。昨年度、自治協議会委員の皆様よりいただきましたご意見やご提案の一覧と、それに対する担当所属の検討結果を記載しておりますので、参考にしてください。ご意見につきましては8月8日（金）までにお願いしたいと思います。様式1をお使いいただき、メールまたはファックスで事務局までご提出をいただければと思います。郵便や窓口へ持ち込みでもけっこうです。寄せられたご意見は事務局で整理し、担当する所属で令和8年度の区役所企画事業を検討するにあたり参考にさせていただきます。いただいたご意見やご提案について内容を確認するため、担当所属から直接連絡をとらせていただくことがあります。また、事業の案を固めるまでに複数回のご連絡となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。各所属で企画した区役所企画事業の事業書案は、10月の区自治協議会にてご提出いただいた意見の検討結果と合わせてご報告します。その後、11月の区自治協議会での意見聴取と審議を経て、12月に財務当局へ予算要求という段取りとなっています。

一番最初の資料2－1に戻っていただいて、右側の自治協議会提案事業についてです。8月と9月の各部会にて来年度の提案事業について検討していただきます。原則、ご自身が所属する部会の提案事業を検討していただきますが、検討する中で横断的な取組みが必要となった場合は、各部会で事務局にご相談ください。なお、自治協議会提案事業では、区役所企画事業で対象外となっている健康福祉、子育て、防災、安心安全について

て予算化することができるので、幅広いご意見をお願いします。また、お配りしている資料の中で、綴りの一番最後になるかと思いますが、様式2と書かれた事業アイディアの用紙があります。これは各委員でご使用いただく紙となっておりまして、部会での説明の際にお使いいただくものです。事務局への提出は不要となっております。

最初から2枚目、資料2-2に戻っていただきまして、10月に入りましたら、一番右側の列の事業検討委員会を開催し、会長、副会長、各部会長、副部会長の委員の皆様から提案事業の整理や予算の割り振りなどの調整をお願いします。その調整結果につきましては、10月の区自治協議会で報告いただき、意見聴取を行います。必要に応じて11月の区自治協議会で修正報告していただいた後、12月に財務当局への予算要求を行います。作業量が多く、委員の皆様にはご負担をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ただいまのご説明について、ご質問や確認したいことはございませんでしょうか。

(平田委員)

平田です。質問です。

様式2の自治協議会提案事業は区役所に送らなくてもいいということで、部会に提出でいいでしょうか。

(副区長)

自治協議会提案事業につきましては。今後の部会のほうで検討していただいてまとめさせていただくということですので、様式1は、区役所企画事業に対する意見をお書きいただくものとなっております。

(平田委員)

様式2の質問なのですけれども。

(副区長)

これは、事務局に提出いただく必要はございません。部会で検討する際にお使いいただければけっこうです。

(平田委員)

これは毎年やっているのでしょうか。

(副区長)

毎年やっています。

(平田委員)

分かりました。

(渡邊会長)

平田委員、ご確認いただきありがとうございました。資料2－2をご覧いただけますでしょうか。こちらのオレンジに塗っていただいているところの、8月下旬の部会で事業検討と書いてあるところ、2分の1の、多分、8月のときにこちらの様式2の自治協議会提案事業を部会で検討していただく形になりますので、アイディアをお持ちの方はこちらをぜひお持ちいただきて、部会で来年こんなことをしませんかというお話を聞いていただければと思います。また、こちらはたしか一人10枚もとはないと思うのですけれども、アイディアがいくつかあれば、複数枚でも持ってきてよいということでおろしかったでしょうか。ということです。

1点、先ほど副区長からもお話がございましたが、自分が所属する部会ではない部会でもこういった活動があつたらいいのではないかということがあれば、ぜひお持ちいただければと思います。

そのほか、ご質問や確認したいことはございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。なければ、令和8年度「特色ある区づくり予算」編成についてを終わります。

5 その他

(渡邊会長)

次に、次第5「その他」です。

はじめに、各部会より活動報告をお願いいたします。第1部会、第2部会、第3部会、秋葉区未来ビジョン部会、こども真ん中プロジェクト部会の順番でまいります。広報部会は部会長、副部会長がともに欠席のため、割愛させていただきます。時間の都合により、ご質問はすべての部会が終わってからとさせていただきます。

それでは、第1部会の小菅部会長からお願いいいたします。

(小菅委員)

皆様こんにちは。第1部会会長の小菅です。よろしくお願いいいたします。

第1部会としては、きらめきサポートプロジェクトについてご報告させていただきます。今年度は9団体からの公募があり、採択事業の決定を行うため、一次審査並びに二次審査を実施いたしました。一次審査は6月27日、二次審査は7月25日に開催し、審査の結果、今年度の事業は6団体を採択しましたことをご報告いたします。詳細については、本日お配りしているきらめきサポートプロジェクトのカラー刷りのA4判に、

採択した6事業について書かれておりますので、ご覧いただければと思います。各団体の動きやイベントの日程等については、詳細が決まった段階で皆様方と共有していただきたいと思いますので、引き続きお願ひいたします。また今回、6事業と非常に多いもので、1部会の人数も限りがありますので、皆様方、この6事業に興味がある方、もししくはお手伝いしてもいいよということであれば、ぜひ参加をお願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ぜひ、つながっていただけると、またおもしろい輪が広がっていくかと思いますので、よろしくお願ひいたします。

第2部会の青木部会長、お願ひいたします。

(青木委員)

第2部会から報告いたします。第2部会といたしまして、秋口に避難所の開設訓練を計画いたしまして、各関係するコミュニティ協議会と連絡調整中でございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。

第3部会の山崎部会長、お願ひいたします。

(山崎委員)

第3部会です。

先月話しましたのは、事業名を一部変更し、対象、年齢を幅広く設定した秋葉区民大学目指せ博士ちゃんと称し、花の文化や遺跡、産業などにスポットを当てたウォークリーを開催するために、準備、計画を進めていきます。その他、今年度も2月8日に開催される秋葉っ子ふゆまつりに参加して、餅つきPRなどもしていきたいと思います。

(渡邊会長)

ありがとうございます。

未来ビジョン部会につきまして、私からご説明させていただきます。意見交換会を開催させていただきました未来ビジョン部会の事業募集は6月16日（月）から開始しておりますが、4団体からご応募いただいております。荻川、東部、山の手、金津のコミュニティ協議会様からご提案いただいております。4団体ともに事業の委託を決定いたしました。それぞれの地域で活動が行われ始めております。各団体では、未来ビジョン専門のプロジェクトチームが立ち上がったり、イベントの実施に向けて準備が進められているとのことです。直近では、7月26日（火）午後4時から、山の手コミュニティ協議会の未来ビジョン事業として、小須戸運動広場で散水イベントが行われると聞いております。今後も引き続き皆様にも共有してまいりますので、よろしくお願ひいたします

す。

それでは、こども真ん中プロジェクト部会の荒井部会長、お願いいいたします。

(荒井委員)

荒井でございます。

令和7年度で新たに特別部会としてこども真ん中プロジェクト部会が設置されまして、1回目の部会が7月9日（水）に行われました。部会のメンバーは15名でございましたが、11名の出席を得て会議を行ったところでございます。第1回目でありましたので、部会の情報の共有等もありましたので、基本的な問題についても話し合いをしたところでございます。まず、本特別部会の活動目的、概要についても、まず、目的といたしましては、イベントや遊びの場が少なくなる冬期間、こどもたちが楽しめる、遊べる機会を提供することで、地域に愛着を持ってもらうとともに、親も子育てを楽しめる環境を作るということを目的としていこうと。

事業の概要といたしましては、一つは、新潟秋葉っ子ふゆまつり。これは毎年2月8日開催予定のイベントでございます。二つ目は、アキハフジンロックフェスティバル。これは今年12月27日の開催予定になっております。この二つのイベントを取り上げることといたしまして、この二つのイベントに自治協議会がかかわることを通じまして、地域全体で子育てを支援する風土を育む、安定的な、持続的な開催ができるよう、支援体制を整えていくことをそれぞれ確認したところでございます。

次に、部会長、副部会長の選出を行いまして、部会長には私荒井が、副部会長には中島委員がそれぞれ選出されたところでございます。

続きまして、各二つのイベントにつきまして、それぞれ佐々木委員、田中委員からそれぞれのイベントの対応、問題点、特別部会との関わり方などにつきまして説明を受けまして、二つのイベントの共通課題といたしまして、運営資金の確保の困難性を記載したところでございます。また、今後の実行委員会の打合せなど等におきまして、イベントの運営や自治協議会とのPR活動などについて、特別部会のメンバーの参加が求められていく形になるかと思います。なお、二つのイベントが実施に向けて同時進行する形で進むことになるため、特別部会としての対応に課題もございますけれども、それぞれの実行委員会からの要請の内容に合わせて、今後は対応することとしていきたいうことで共有したところでございます。

(渡邊会長)

ありがとうございました。

ただいまの件につきまして、ご質問がございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

続きまして、長崎区長より報告をお願いいたします。

(区 長)

長崎です。よろしくお願ひいたします。私からは、今日お配りさせていただきました秋葉区内路線バス乗車人数比較表の資料についてのお話と、先日、市長トークで市長から児童館のお話がありましたので、区としてどのように進めていくのか、少しご紹介をしたいと思います。

路線バスの比較につきましては、昨年、ワンコインバスというものを走らせていただき、6月からでしたけれども、今年は4月1日からすでに走っている状況で、バスの見直しをする前の令和5年度の実績値、昨年、令和6年の4月からの実績値と、6月1日からのワンコインバスを始めてからの実績値を載せております。令和7年度6月までの3か月間の現在の状況を載せさせていただいたということでございます。第2部会のほうで交通についてご検討いただくということだと思いますので、今日は参考としてお配りさせていただいたということです。

ざっと3点ほど、私なりに解析をさせていただくと、まず、令和5年から令和6年に見直しをしたうえでの令和6年というのは、令和5年よりも乗車人数が増えた結果が右側の下にあります合計数値で出ているという状況です。令和5年度がトータルで3万6,670人に対して、令和6年は4万1,490人ということで、ざっと4,000人以上増えているという状況がございます。

2点目としましては、学生の乗車数、令和7年に始めましたけれども、令和6年の平均数字を上回る形で令和7年はスタートしておりますので、一定程度、こどもたち、学生を含めてワンコインバスが定着をしていると見るおります。ちなみに、令和6年6月の金津線と区バスが異常に増えているのは、皆さんご承知だと思いますけれども、新津美術館でありました「ゴールデンカムイ展」がこの月にあったがために、この月だけ少し数値が上がっているということでございます。それもありまして、右下に÷10月とか÷12月と書かせていただいたのは、月単位で見ると、平均値に対して、実際今の令和7年の状況は平均値よりも増えているのか、減っているのかというのが分かりやすくなつたりでありますけれども、少し複雑になったかもしれません。ご容赦いただきたいと思います。

そのうえにはなりますが、3点目として、令和7年の乗車人数を見ておりますと、少し区バスの人数が伸び悩んでいるかなというのが、私なりの問題意識でありまして、その辺について昨年度、第2部会が、できれば区バスがウォロクの近くのほうに行けない

かといった検討をされた経緯がありまして、ぜひ再度ご検討いただければと思いまして、今日は配付させていただいたということでございます。また、部会で説明してくれということであれば、私がおじやまして、具体的にお話をさせていただき、ディスカッションさせていただければと思います。ご検討いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ただいまの件につきまして、ご質問やご確認したいことはございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

(区長)

もう1件。資料はありませんけれども、児童館の話をさせていただきます。6月16日に市長トークで、最初の説明の段階で中原市長が、8区の中で児童館のない秋葉区の既存の施設に児童館を設置するということでお話しさされました。それを踏まえて、児童館を所管しているこども未来部のこども政策課と協議を現在進めている状況であります。これは少し私が先走ったかもしれませんけれども、7月9日にありましたこども真ん中プロジェクト部会のところにもお邪魔させていただいて、今後、ぜひ意見交換をさせていただきたいと。もし提案があれば、承りたいということでお話をさせていただきました。その後、本庁の副市長をはじめ、どのように進めるのかを協議しているのですけれども、私としては、こども未来部長あるいは副市長には、提案をいただいたうえでの実施ということなので、ぜひ意見交換を自治協議会の皆様とさせていただきたいということで、お話をさせていただいております。

現在は、秋葉区内の施設で実際に児童館が設置できるかどうかの検討を、区の健康福祉課のほうで既存施設の洗い出しをしているところですし、こども政策課のほうは来年度に向けての予算要求の準備をしているということです。副市長のほうからは、来年中にできるようにということでのスケジュール感が示されましたので、私どもの準備ができましたら、こども真ん中プロジェクト部会あるいは自治協議会の全体会の中でご意見を聴かせていただくような場を準備したいと思いますので、どの段階になるか分かりませんけれども、ぜひ皆様からご意見ないしはご提案をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。大枠の見通しにつきましてご説明いただきまして、ありがとうございました。ただいまの件につきまして、ご質問や確認したいことはございません

でしょうか。

(平田委員)

平田です。

私も市長から直接聞いて、大変よかったですなと思いましたけれども、実際に区と市のほうで進めているというお話を聞いて、頼もしいなと思いました。自治協議会とも意見交換をしたいということでしたが、こども真ん中プロジェクトとも話し合うのだと思いますけれども、全体のところでの意見交換ができたらお願ひしたいと思います。

(区長)

ご意見をいただき、ありがとうございました。承りましたので、ぜひ進め方について、会長、副会長ともご相談させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

佐々木さん、いかがですか。

(佐々木委員)

秋葉区に児童館ができるのは素晴らしいことだなと思うのですけれども、こどもが自分で行ける児童館が一番いいなと私は思うので、アクセスしやすくて、おうちの方が一緒に歩いて、駐車場があってというと、なかなか厳しくなってくるのかなと、建物の面ではそう思います。中にいる、例えば支援員さんたちですとか、児童厚生員の皆さんのが温かい人たちであってもらいたいというところが一番の願いでして、今、新潟の児童館はどこがよくて、どこが悪いとはいわないのですけれども、玄関先で名前だけ書いて、施設を利用するだけの児童館がとても増えています。やはりそういうのは児童館なのかなと、私は県外の児童館などを見ていて、素晴らしいところをいっぱい見てきたので、できたら、中に入っても楽しい、そして行きやすい児童館、秋葉区らしい児童館ができるといいなと願っています。よろしくお願ひします。

(区長)

ご意見、ご提案、ありがとうございます。今のようなご意見、ご提案、具体的に、例えばこの施設がいいとか、参考になるような情報もぜひいただければ、区の職員が調べさせていただきたいと思いますし、ぜひその思いを共有しながら、皆様と一緒に児童館をつくれればと思っております。よろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。必須要素があり、そのほかに環境としてハードの面だけではなくソフトの面もぜひ検討していかといいなと思います。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

続きまして、新井田産業振興課長より情報提供をお願いいたします。

(産業振興課長)

産業振興課の新井田です。

前回の自治協議会でマウンテンプレーパークを取り上げていただきましたので、再確認も踏まえて、皆様にご紹介したいと思ってPRさせていただきます。マウンテンプレーパークなのですけれども、毎週土曜日9時から15時まで開催しております。どなたでもご利用できる施設です。ただし、1月から3月の冬期間は休んでおりますし、今年についてなのですけれども、8月は熱中症対策の関係で休園させていただくこととしております。秋葉公園内的一角にある施設なので、駐車場も含めて、ご家族でいらっしゃることができますので、自由に使っていただきたいと思っております。

裏面になりますけれども、下段のおうちの方へという囲みの中の真ん中あたりですけれども、こちらのプレーパークは自分の責任で自由に遊ぶということをテーマにしているところで、こどものやってみたいという思いを大切にして遊べる場所、禁止事項がないプレーパークとして設定しております。こどもたちにとってのびのびと野外で遊べる施設となっておりますので、こちらをぜひご活用いただければと思っております。遊び方については、裏面の上段に例も挙げておりますので、ぜひ皆さんからもPRしていただけますと幸いでございます。よろしくお願ひいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ただいまの件につきまして、ご質問等はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

続きまして、新津地区公民館の森山館長より情報提供をお願いいたします。

(新津公民館長)

新津地区公民館の森山でございます。よろしくお願ひいたします。

まず、配付資料にはないのですけれども、先月6月29日に秋葉区芸能祭をおかげさまで無事に開催いたしまして、延べ700人を超える皆様からご来場いただきました。大変ありがとうございました。加納委員からご紹介いただいた二中の吹奏楽部が大トリだったのですけれども、大変素晴らしい演奏や演出で多くの皆様がひきつけられていましたと感じております。ご来場いただきまして、大変ありがとうございました。

お配りした資料なのですが、チラシを2枚配付させていただきました。こちらが先ほどの議案の中にもありました区づくり事業の関係です。「アキハの宝こども探検ツアー」

の2件でございます。一つが、「発見！ そうだったのか！ 秋葉区の天気」ということで、7月21日にすでに終了したものですけれども、区づくり事業ということで、簡単な報告をさせていただきたいと思います。昨年から継続して行っています秋葉区の天気という講座なのですけれども、秋葉区の特色は里山や、鉄道や、お花やいろいろなありますけれども、冒頭で青木委員から最高気温のお話が出ましたけれども、昨日の新潟県の最高気温が36.5度ということで、アメダス新津観測所で観測されたものでございます。こういったことも秋葉区の特性の一つなのではないかと職員から提案があって、昨年度から行っておりますが、昨年度も今回も多くの方からご参加の申込みをいただきました。

昨年は、新津観測所のすぐ近くにある小合コミセンをお借りして行ったのですが、今回、月曜日で休館という関係もありまして、新潟薬科大学の東島の新津キャンパスの部屋をお借りしまして、薬科大学の教職課程の学生さん7名からもお手伝いいただき講座を開催いたしました。講師の方なのですけれども、お配りしたチラシの丸い囲みのすぐ下に講師という欄がありまして、FMにいつパーソナリティの小川亜希子さんが気象予報士でいらっしゃいます。小川亜希子さんのお話に続いて、昨年に引き続きまして、気象予報士会新潟支部のお二人から、おもしろ科学実験を行ったいただいたという流れになります。

小川さんのお話の中でとてもおもしろいなと思った項目があったので、いくつか紹介したいと思うのですけれども、日本のこれまでの最高気温は何度でしょうかと。皆様ご存知の方は多いかと思うのですけれども、40度以上だと思われる方はいらっしゃいますか。正解です。正解は41.1度。観測されたところは2020年8月17日に静岡県浜松市、2018年7月23日、こちらのほうが有名かもしれないのですけれども、埼玉県熊谷市、この2か所で41.1度が観測されておりまして、秋葉区はどうかといいますと、2023年8月31日に39.4度が観測されております。

では、どこで観測されているかというと、先ほど新小戸上組の新津観測所のお話をさせていただきました。県内で観測所の数はいくつでしょうかというクエスチョンがありました。1番が4か所、2番が44か所、3番が444か所、心の中でそっと思っていただければと思うのですけれども、正解は2番の44か所です。その中で、新潟市内には中央区のほかに東区の松浜と巻と新津の4か所があるということです。その新津観測所で昨日36.5度が観測されたことになります。

なぜ新津がこんなに暑いのかということなのですけれども、気象にはいろいろな原因はあるということでしたけれども、一つは、やはり夏なのでフェーン現象。南からの風

が三国山脈を越えてさらに暖かくなつて吹き下ろすわけですけれども、加えまして、先ほどお話しした2023年8月31日に39.4度を観測した新津観測所の風の向きなのですけれども、午前中が南の風、南東だったり、東南東だったりの風です。9時の気温が32.3度、10時が33.9度、11時が35度と上がつていくのですが、午後の風向きがどうかというと、南風ではありませんでした。主に北、北西の風が吹いて、午後12時の気温が36.3度、1時が38度、午後2時が36.2度、3時が35.1度、4時が34.7度と午後のほうは北風なのに上がつてゐる。

この理由を解説してくださつたのですけれども、通常、海風といふのは比較的涼しい風が吹くのですけれども、海岸線では海風が比較的低い温度で吹くのですけれども、市街地を通るときにさらに暖められた熱風が秋葉区に届くと。秋葉区に届くまでには海風がどんどん熱せられて届くので、北の風、北西の風であつてもどんどん気温が上がって、1日の最高気温が北西の風が吹く午後に観測された、という話がありました。もちろん、天候のことなので、さまざまな要因があるかと思います。今日の気温は、風向きはとか考えて、なぜなのかなと思いを馳せていただくのも、秋役の特性の一つを考えるきっかけになるのではないかという気がいたします。

そのほかにも、なぜ雪が多いのかというお話や、そのあとにおもしろ科学実験ということで、少し前にテレビでもやっていたのですが、ペットボトルの中にアルコールや水を入れて、圧縮した空気を元に戻すとどうなるかという実験で、ペットボトルの中に水やエタノールを入れまして、炭酸水をいったんあけたあとにもう1回閉める、フィズキーパーというしゅぼしゅぼとやって空気を圧縮する道具があるのですが、それで圧縮したペットボトルの中の空気を栓を開けて抜くと、圧縮された水やエタノールが一気に元に戻ろうとして雲ができるというおもしろ実験に、こどもたちの目はきらきらと輝いていたという状況でございます。あとは、ペットボトルを二つくっつけて、水竜巻を作ることで、片方のペットボトルの水が逆さにしても気圧の関係で落ちないのでけれども、渦巻きを作ってやると、そこに圧がかかって下に落ちていくという、竜巻のような形を子どもたちが実際に目で見て、科学を楽しんでいる姿が印象的でした。

秋葉区の天気については、おおまかには以上となるのですが、これから開催されるものがもう一つございます。秋葉区の特色の一つで、鉄道は切つて切り離せない思いしますので、「ナイトミュージアム～夜の鉄道資料館へ行ってみよう！」というイベントを紹介させていただきます。8月23日（土）夕方6時半から8時半の開催です。鉄道資料館は通常、夕方になると閉館しますので、この時間帯に観覧することはできないのですけれども、鉄道資料館と話をしまして、どんなことをしたら子どもたちに喜んでもら

えるかという協議の結果、この時間帯に夜の鉄道資料館を見ていただこうということになりました。こちらについては、小学校4年生から6年生が対象なのですけれども、8月8日の締め切りまでまだ空きがある状況となっております。

裏面をご覧いただきますと、スケジュールが書いてありますて、最初に、基本のきなのですけれども、なぜ新津が鉄道の町なのかということを鉄道資料館の副館長の加藤さんからお話しいただきます。そのあと、鉄道資料館へ移動しまして、最近入れ替わった電車運転シミュレーターの、ここには書いていないのですが、元JRの運転士という鉄土資料館の目黒さんから模範運転をしていただくと。その後、館内の施設を見学しまして、目玉の一つが、普段、明るいときにしか鉄道資料館の屋外展示車両をご覧になつていなかと思うのですけれども、ライトアップされた展示車両を特別に見られるようにしたいと思っております。また、昼間とは違うライトアップされた姿に鉄道に対する思いがめぐるのではないかと考えております。

その後最後、鉄道資料館の磯部館長から、8ミリ映写機という、カタカタと音のする映写機なのですけれども、8ミリ映写機で撮影したお宝映像、急行きたぐに、青森行きのお宝映像を見てもらうと。これがこどもたちにどう映るかは未知数ですけれども、私ども試写を拝見したのですけれども、昔の新津駅の様子とか、羽越線の様子があって、とても興味深いものでした。磯部館長からはおもしろいお話を交えてこどもたちに紹介していただけるものと思いますが、今回、ナイトミュージアムという企画を考えましたので、区づくり事業として自治協議会の皆様にもご報告させていただきました。ありがとうございました。

(渡邊会長)

ありがとうございます。大変興味深い内容を提供していただきました。今の件についてまして、ご質問等はございませんでしょうか。

(佐々木委員)

佐々木です。

大変素晴らしい説明をいただきまして、ありがとうございました。ナイトミュージアムのほうのチラシなのですが、電話番号が見づらいような気がするのですが、こういう文字体なのでしょうか。

(新津公民館長)

ご意見ありがとうございます。一番下の①のことでしょうか。

(佐々木委員)

表側の会場と書いてあるところの番地と電話番号と、裏側の一番最後の電話番号が少

し見づらいかなと思ったのですが、これはカラーになると違うのでしょうか。

(新津公民館長)

カラー版はウェブサイトに掲示してあるのですが、配布物はすべてモノクロ版で、いただいたご意見を参考に、今後、フォント等について改善していきたいと思います。ありがとうございます。

(杉田委員)

杉田です。

先ほどのナイトミュージアムのことなのですけれども、お天気のそうなのですけれども、対象者が区内小学生となっているのですけれども、当面はこういうことかなとは思うのですけれども、募集状況等によるかとは思うのですけれども、交流人口を増やそうという観点からしますと、例えば区外でもよろしいのかなとか、全国に向けて、こういうことをやるというのも一ついいのではないかと。受け手側の準備等で人数制限があるのかもしれないのですけれども、もう少し皆さんでサポートすれば、その人数を増やすし、交流人口を増やすきっかけにもなるのではないかと思いました。

(新津公民館長)

ご意見ありがとうございます。応募人数によっては、前段として秋葉区の区づくり事業なので、区内のお子さんが対象ではあるのですけれども、ご意見いただきましたおり、応募人数によっては区外の方から参加いただくことも可能と考えておりますので、今後、運営面も含めて検討していきたいと思います。ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、私から1点。あまり目がきらきらしがちでない大人からするとといいますか、逆に大人がきらきら目を輝かせて楽しめるのではないかとも思いました。森山さんのお話を伺いまして、逆に大人探検ツアーもぜひ今後ご検討いただけたらうれしいなど、個人的に思いました。

(新津公民館長)

ご意見ありがとうございます。今回、ナイトミュージアムという事業を考案したきっかけなのですけれども、公民館の職員の中から、昔、ナイトミュージアムやったことあるよという話があって、実は、中島委員が公民館の運営審議会の委員をされていたときに、大人向けのナイトミュージアムという企画をやったことがあるというお話を聞きまして、今回、こども向けにやってもおもしろいかもね、ということで、今回の話に至ったのですが、もちろん、大人が輝く企画も大切かと思いますので、再び考えていきたい

と思います。ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。そのほか、ご質問等はございませんでしょうか。

直近のお知らせで申し訳ないのですが、「不登校は問題じゃない? 子どもの権利から考えてみよう!」というものが今週末にございます。申込日は過ぎているのですが、ご興味ある方をお待ちしていますので、よろしければご参加いただければと思います。裏面をご覧いただきますと、3人の方からお話ししていただくのですが、どの方も不登校のお子さんをお持ちの保護者の方で、どのように進路を進んでいったらいいのかとか、学校とどのように連携していったらいいのかとか、そもそも子どもとどう関わったらいいのかという、どん底といったら変ですけれども、すごく深いところの悩みから徐々に、自分たちだけではなく他の方々にも共有したいというところを歩んでこられた方々です。ですので、今、悩んでいる方々にぜひつないでいただけたら幸いです。

それでは、最後に私から1点ございます。先月配付しました9月5日開催の新潟市區自治協議会全体研修会につきましてですが、本日出欠報告の締め切りとなっております。未提出の方は各部会の事務局までご提出をお願いいたします。

ほか、委員の皆様でお知らせしたいこと等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、これで議事を終了したいと思います。進行を事務局にお返しいたします。

6 閉会